

一人一人が輝き、笑顔あふれる茂木中学校



茂木の風

長崎市立茂木中学校
学校だより 第13号
令和6年7月1日

「起こせ茂木の風 ～挑戦と感動～」

文責 校長 野田 希世美

被爆体験講話 ～八木道子さんから話を聞きました～

6月19日に八木道子さんをお迎えして、被爆体験の講話をしていただきました。八木さんは6歳の時に爆心地から3.3kmの鳴滝町で被爆されました。その時の様子を大変わかりやすく詳しくお話していただきました。空襲警報が解除されたあと安心して八木さんの頭上でピカッと閃光がひかり、その後大きな爆音が鳴り響き、その様子を「ピカドン」と表現されました。そしてその時の爆風（熱風）が凄まじかったことを力説されていました。生徒たちは「被爆された方の火傷の様子」や「茶毘に付され様子」などの話を一生懸命話に聞き入っていました。今、本校では平和学習を進めています。この講話や先日の大澤さんの講話などから「平和な世界」を創る日本人としてこれからどうしたらよいかしっかりと考えてほしいと思います。



シンナガサキミーティング～茂木地区の発展を市長と考える～

6月23日に茂木のふれあいセンターで「シンナガサキミーティング」が行われました。これは鈴木市長が実際に茂木に来られて、地域の方と「茂木地区の今後の発展」のために話し合うというものでした。会議に参加したのはびわ農家の方、漁業の方、地域センターの方、自治会長の方、コミュニティ運営協議会の方など、日ごろ茂木地区のために尽力されている方々です。その中に茂木中学校の生徒代表として、3年生の濱口さんと橋浦さんが市長に直接茂木の活性化のために中学生からの意見を言いました。今、中学生がやっていることとして「体育祭を地域のお祭りとして実施したこと」「地域のボランティアをしていること」「職場体験」について説明をしました。その後、今後できることや提案として「お祭りを中学生がSNS発信・お祭りの運営の一員として参加したい。」ことや「新鮮市場を茂木の目玉としてもっと盛んにしてみようか？」と市長に話をしました。鈴木市長もその後、新鮮市場を見に行かれたようでした。頼もしい茂木の若者、濱口さん、橋浦さん、お疲れさまでした。茂木地区では近いところでは花火大会を予定していますね。みんなで盛り上げていきたいものです。



